

質雜 27: 1-9 (1920).

### Explanation of Plate II

Sections of *Araucarioxylon mineense* from Sekigahara. A: Cross section. B: Radial section showing tylosis-like structure within tracheids. C: Radial section showing bordered pits on tracheid. D: Tangential section showing very high rays which are biseriate in part. E: Tangential section showing biseriate ray. A & D:  $\times 60$ , B & E:  $\times 140$ , C:  $\times 580$ .

○高等植物分布資料 (92) Materials for the distribution of vascular plants in Japan (92)

○シライトソウ *Chionographis japonica* Maxim. 本種の分布は日本種子植物分布図集 2: Map 193 (1959) に示してあるように、日本海側では北上して新潟県北部に達していることが知られていた。それが今回更に北方の秋田県本荘市小友地内に産することが明らかになった。同地では 1975 年秋に真田栄氏が発見し、1976 年に同氏と共に松山忠氏が更に詳しく調査して花も実見し、このことを佐竹義輔博士に通報され、同博士を通じて資料をいただいて調べることができた。

産地は出羽山地の笹森丘陵の山林地で、ブナ林と一部は伐採してスギ苗が植えられている場所で、1 平方キロばかりの地域に点在しており、古くから林内に自生していたものと判断される。シライトソウがこのように北方にまで分布していることは誠に興味深く、資料を提供して下さった上記諸氏に深謝すると共に、その生育地が大切に保護されることを切望する。なお本植物については更に研究中で、後日改めて報告する積りである。

(東京大学総合研究資料館 原 寛)

○ギョクシンカ *Tarenna gyokushinkwa* Ohwi. 数年前高知県室戸市域の山林中で幼木を数本掘り上げてきて栽培していたものが開花結実した。検討の結果ミサオノキ (*Randia cochinchinensis* Merrill) ではなく本種であることがわかった。播種したものは発芽しよく育っている。今日までこの植物の天然分布は九州以南沖縄、台湾で、四国の分布は確認されていなかった。

(東京農業大学 林 弥栄)